

もっと川を見よう

リバーフロント研究所長 丸岡 昇



この何年間か、サクラマス越冬環境の研究を継続していて、若い研究者（職員）と現地での越冬環境調査をしている。そこで感じたことは、職員と川の現場との関係が希薄になっているのではないかという危惧である。加えて職員が喜々としてサクラマスの採捕等をしている姿を見て、技術者のやる気や創造力の育成は現場抜きにはあり得ないという思いである。

さて翻って自分と川との関わりはどうだったかと思い起こしてみた。生まれ落ちたのは大阪市内で物心ついた頃には、小河川の汚染（どぶ川）と内水・外水に脅かされていた。神崎川は製紙工場の排水でメタンガスの泡が一面覆っていた。（隅田川もそうだったと後で聞いた）暗渠化した河川の復活が叫ばれているが、当時暗渠化は私も含め家族一同大歓迎だった。長堀が暗渠化されたのもこの頃で、東西幹線道路と地下駐車場に変身した。内水被害も頻繁で床上まで来そうなときは家中で畳を上げた。（ごく最近まで神田川沿川住民もそうだった）

小5の時には第2室戸台風が襲来し、高潮と洪水で危うく堤防が切れそうになったが、風向きが対岸向きで船が堤防に当たり、私の方は辛うじて外水による浸水は免れた。堤防に上がってみると、文字通り、堤防天端から手が洗える状態であった。後に対岸の中学校へ進学したときに、校舎の高い位置にくっきりと浸水の跡が付いていた。（浸水が3mにも達したのは地盤沈下のせいと後で知った）

楽しい方では、武庫川が水泳場としては、須磨海岸以外では、近場で唯一のものであった。オイルボールが押し寄せる海岸と違い武庫川は清流そのものであった。（どのように見えた）川には淵等があり、水温が低く心臓マヒに注意し、準備運動をよくするよう父から何度も指導された。

また新淀川（淀川放水路）はハゼ釣りに最適であり、ゴカイを餌に釣りを楽しんだ。同時につれるのが小型のふぐで怒って膨れたものを道路に投げて車に轢かれてパンと鳴るのを面白がっていた。（子どもは残酷）兄は竹と鈴を使ったウナギの仕掛けを作っていた。また胴長をはいたゴカイ取りの人が「ゴカイは砂地にいる」と教えてくれた。

兄に連れられて渓流釣りにも行った。渓流釣りの餌はサバ虫というものを要するに金バエの幼虫（蛆）である。しかし渓流釣りはハゼ釣りと違い酷く難しくぼうずが常であった。またサバ虫を使い切らずに持って帰って数日すると蛹を経て金バエに変身し容器の中でブンブン言っているのを見て、大げさに言

うと生命の神秘を見た気分（糞にたかっている姿も同時に目に浮かんだが）であった。

高校は淀川の堤防と道路一つ挟んだ学校に入った。マラソンコースは淀川の高水護岸（コンクリート）と堤防が使われていた。広々して車の通らない自然豊かな（放水路であっても）淀川でのマラソンは爽快で3年間参加した。

大学は黒四ダムの完成や本四架橋構想に触発され、大きな構造物を設計したいという単純な思いで、京都の交通系の学科に入った。京都には、鴨川というおしゃれな都市河川があり、当時から等間隔にカップルが並ぶデートコース（表現が古い！）であった。その後は交通系の学科に入ったものの河川への思いたちがたく、紛争時代の大学の大衆団交の席でお目に掛かった河川系教授の研究室にお世話になることになった。学生時代は国内外を旅行し、様々な地域と河川を見て回った。そのとき見たウトナイ湖の菱の繁茂した姿を、30年後、自然再生のお手伝いの時、皆さんに紹介することとなったのには正直驚いた。（現在は、菱は殆ど見られない）

役所に入って直ぐに、交通系の学科を出ていたので道路をやらないかと聞かれ思い悩んだあげく、河川に留まることにした。その後はほぼ河川にどっぷり浸かった生活を過ごしてきた。

今日まで20回ほど海外の河川に関する技術協力等に従事させていただいた。エルサルバドル、インドネシア、台湾、中国等では川づくり、ダムづくりそして人づくりのお手伝いをし、河川とともに、関係した人々との交流が印象深い。子どもの頃の大阪の河川を思い出しつつ、先人のように清潔で安全な川の実現に微力ながら貢献できたと自負している。（うまく行っているか少し心配な河川もあるが）

こう思い出してみて改めて何と川と関係の深い人生を歩んできたことか。

川をみたこととその川での人々との関わりが、今日の私のやる気、元気、知識、発想の源泉になっている。高度成長期、安定成長期そして人口減少時代を迎える、先人が築いてきた清潔で安全な川に加え、美しく自然豊かな川を実現すべくこれからも、機会あるごとに、同僚、職員そして先輩諸兄と規範とすべき良い川と改良に全力を注ぐべき悪い川を見て行きたいと思う。同時に川で遊び、感じ、学びたいと思う。

若人諸君、もっと川を見よう。（その時には私も連れて行ってください。お願いします。少々口うるさいかも知れないが、少しは役に立つと思うよ！？）